

# 松井角平蔵『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』写について

Study on Matsui Kakuhei's copy of "Horinji-mura Mikumano Gongen Gohonden Sumpocho"

平山育男

HIRAYAMA Ikuo

キーワード

松井角平、寸法帳、写し

Keywords

Matsui Kakuhei, dimension book, copy

This article introduces the "Hourinji-mura Mikumano Gongen Gohonden Sumpocho" and reprints it below, and considers some of the background to its establishment. The following points become clear.

This book was written in 1883, and copied by T. Matsueda during

night work at Kakuhei Matsui's workshop during the construction of the shrine building. From the background of the creation of this book, we can recall Matsui's way of gathering a group of engineers, sharing technology within the group, and improving technology.

## 1 はじめに

過日、『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』など数冊の文書を入手した。法林寺村は現在の富山県南砺市に位置し、ここに熊野社も所在する。つまり、この文書はその社殿の寸法を記したものであると考えられる。表紙には

明治十六年 不計他見

法林寺村 三熊野権現

御本殿寸法帳

未三月上ばん まつ枝藤左郎□

とあるため、明治16(1883)年に法林寺村に所在する三熊野権現本殿の「寸法帳」を「まつ枝藤左郎□」が記したことになる。ところで、この文書で最も興味をそそられるのは裏表紙にある

越中国砺波郡松井角平方ニ而夜業ニ

写之物ナリ

の奥書である。記載によれば、この文書は「まつ枝」が越中国砺波郡の松井角平方において夜業を行った際にこの内容を書写した、とある。つまり、この『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』には、原典となる〈祖本『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』〉が存在し、これを松井角平が制作したことになる。

逆に言えば、松井角平の設計に基づき〈祖本『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』〉が成立し、その作業の夜業に際して「まつ枝」がこの『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』を書き写したことになる。

このような文書の存在は、松井角平がどのようにして地域において数ある仕事をこなし、また周囲の大工集団から慕われ、その集団として技術の水準を高めたのかを、わずか2行の文書ではあるが、それら人間関係を含め想起させるものである。

松井角平による仕事は、新潟県においても数々確認される。本稿は、それらとの比較を行うための基礎資料として、『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』を翻刻するものである。

## 2 松井角平について

明治16(1883)年に松井角平を名乗ったのは第十三代松井角平恒広もしくは、第十四代恒信と考えることができる。恒広は天保4(1833)年の生まれで、明治31(1898)年に65才で没している<sup>注1)</sup>。恒広の代表作としては明治18(1885)年に再建された井波の瑞泉寺本堂とされる<sup>注2)</sup>。また、恒信は明治2(1869)年の生まれで、明治18(1885)

年に福光の熊野神社本殿を手掛け注目された<sup>注3)</sup>という。

## 3 さいごに

『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』を紹介し、以下に翻刻するとともに、成立の背景を一部考察した。明らかとなるのは以下の諸点である。

- 1) 『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』は明治16(1883)年に作成が行われた。
- 2) 『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』は、まつ枝藤左郎□が、同社殿の建築に際し、松井角平の作業場において夜業に際して書き写したものである。
- 3) 『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』には、松井角平の作成に関わる何らかの祖本があり、それを書き写すことで『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』が成立したとすることができる。
- 4) 『法林寺村三熊野権現御本殿寸法帳』成立の背景より、松井角平による技術者集団の集積、集団内における技術共有及び技術向上のあり方を想起することができる。

## 参考文献

- 1) 松井建設株式会社：松井建設四百年のあゆみ、平成元(1989).11

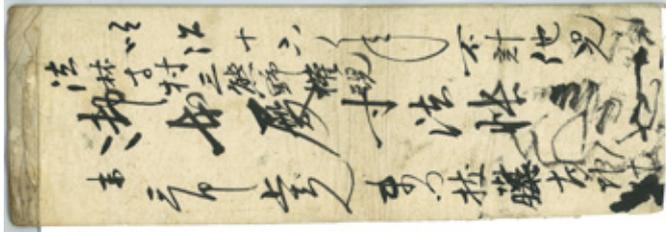
## 注

注1) 参考文献1) 52頁

注2) 参考文献1) 52～56頁

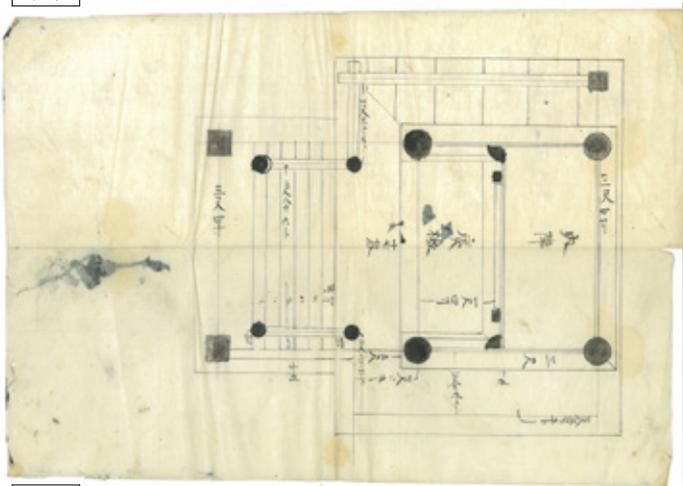
注3) 岡田徳右衛門順一：越中人譚【建築】、「松井角平」の項目で頁数記載なし、平成15(2003)。

表紙



明治十六年 不詳他見  
 法林寺村三徳野 権現  
 御本殿寸法帳  
 未三月十七日 木村藤左郎□

1紙表



2紙表



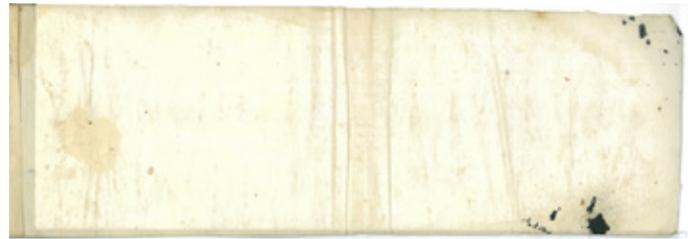
棟歩ミ式寸ツツ、  
 せい壹寸一分  
 下ハ九分  
 小間壹寸一分  
 本の柱真、十六枝之間  
 三尺四寸  
 本より向拝出 十五枝之間  
 三尺  
 梁行  
 本の柱真より 十五枝之間  
 三尺  
 本の平地面よりかつら石上ハ迄  
 三尺 水タレ壹寸  
 〆三尺壹寸

3紙表



一 地長押 せい貳寸八分 下ハ三寸壹分 チリ七分  
 一 腰長押 せい三寸 上ハ三寸壹分 チリ七分  
 一 敷石 せい壹寸四分 上ハ壹寸五分  
 一 鴨居 せい一寸四分 下ハ一寸二分  
 一 上長押 せい三寸 上ハ貳寸  
 一 丸桁 口脇せい四寸 下ハ貳寸四分

表紙裏



〈記載なし〉

1紙裏



〈記載なし〉

2紙裏



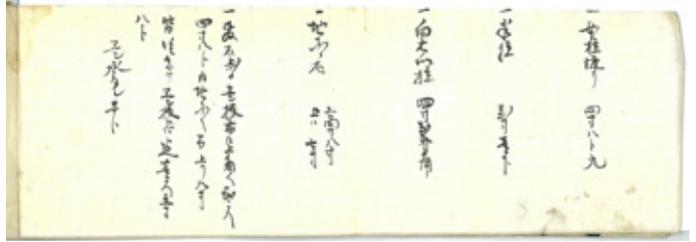
〈記載なし〉

4紙表



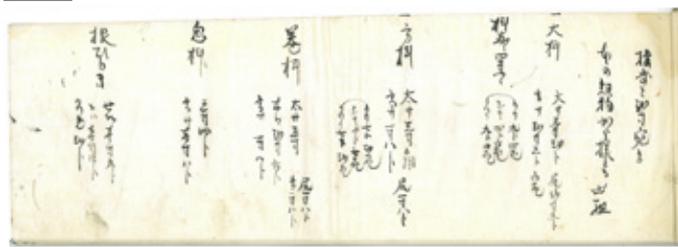
一水貫 せい巻寸八分  
下八八分  
長 四尺六寸 式本  
長 壹尺八寸 式本  
長 壹尺四寸 式本  
一隅さス せい式寸六分  
下八巻寸四分  
一エン束 三寸角  
式尺巻寸  
一広縁柱 三寸角

3紙裏



一本柱渡り 四寸八分丸  
一半柱 式寸巻分  
一向は柱 四寸式分角  
一地ふく石 高サ八寸  
上八七寸  
一敷石上よりエン板木口上角へ式  
四寸八分内地ふく石上八八寸  
皆□高サエン板上ハ迄壹尺五寸  
八分  
エン水タレ壹分

5紙表



種まき 四寸丸  
本組物 四寸丸  
一 大料 高サ三寸式分 尻式寸五分  
高サ式寸三分六厘  
料真、四寸つ、  
（クリ九分四厘  
シキ四分六厘  
クハリ九分四厘）  
一方料 太サ三寸角  
高サ 尻一寸八分  
高サ 一寸八分  
（クリ七分七厘  
シキ二分七厘  
クハリ七分二厘）  
巻料 太サ三寸角  
木口式寸六分  
高サ一寸八分  
尻一寸八分  
木口一寸八分  
鬼料 三寸四分  
高サ巻寸八分  
根ひしき せい巻寸九分  
下八巻寸四分  
クハ八式分

4紙裏



(記載なし)

6紙表



妻行かう梁 せい四寸式分  
下八三寸三分  
押せい三寸四分  
ヲシ八分  
マイ五分五厘  
大層一寸一分  
クリ四分  
地一寸七分  
丸ミ五分  
ヲチ二分半  
一向押かう梁 せい四寸式分  
下八三寸式分  
丸ミ四分五厘  
ヲチ式分半  
押ハター一寸七分  
一海老かう梁 せい 丸ミ四分  
下八三寸  
ヲチ式分半  
押ハター一寸七分

5紙裏



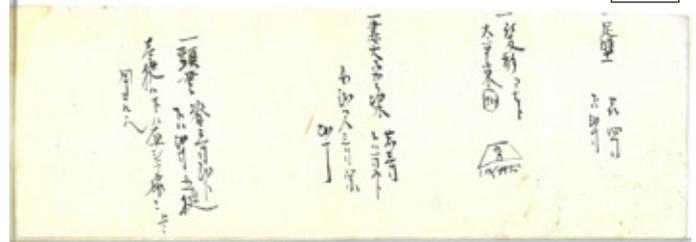
出天井板 ア四分  
中  
つねきひじき せい式寸六分  
隅行ひじき せい巻寸九分  
下八巻寸五分  
クリ一分二厘  
丸ミ式分  
料数五組  
大斗 五ッ  
方斗 式十五  
一卷斗 三十  
巻半斗 十六

7紙表



一平桁 せい巻寸六分  
下八三寸三分  
一地ふく せい一寸八分  
下八同断  
一コヲゾフチ  
面太一寸式分見ハボ  
ア巻寸式分  
竹ふし 敷居面八分  
鴨居巾巻寸  
一タスキ 面三分  
中六分  
アイ三分

6紙裏



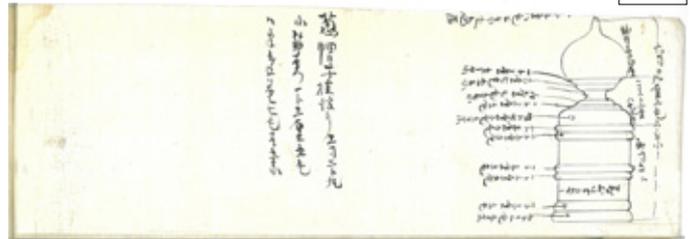
一足壁 せい四寸  
下八式寸  
一笈形 ア七分  
太平束 三寸  
一妻大ふう梁 せい三寸  
トハ一寸九分  
長式尺三寸四分  
式丁  
一頭貫 背三寸式分  
下八式寸五挺  
志挺ハ下ハ厚シテ扉之上ニ  
用ヒル也

8紙表



（記載なし）

7紙裏



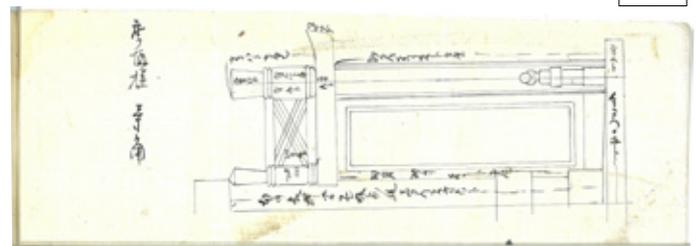
葱帽子柱渡り 三寸二分丸  
小筋沓尺一分三厘五毛  
同半分五分六厘七毛沓五糸

9紙表



樺歩ミ式寸ツ、  
せい沓寸一分  
下八九分  
小間沓寸一分  
一本の柱真、十七枝之間  
三尺四寸  
本より向押出 十五枝之間  
三尺  
梁行  
本の柱真、十五枝之間  
三尺  
本平地面よりかつら石上下迄  
沓尺水タレ沓寸  
メ三尺沓寸

8紙裏



広縁柱 三寸角

10紙表



一茅負 せい沓寸七分  
下八沓寸六分  
長沓丈  
一布糞 厚サ沓寸式分  
中三寸式分  
長沓丈

9紙裏



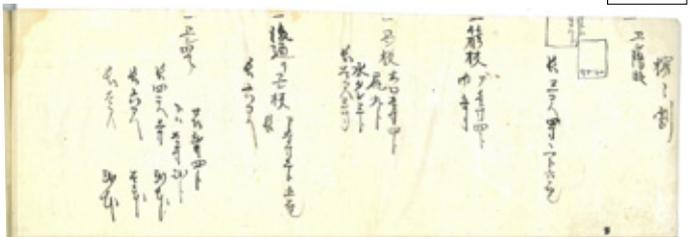
（記載なし）

11紙表



高欄割  
一地ふく 沓寸八分角  
長沓尺八寸 式本  
長四尺四寸 式本  
長沓尺 式本  
アイ 沓寸八分  
一平桁  
ア九分  
中沓寸八分  
長沓尺九寸 式本  
長四尺五寸 式本  
一梁木 沓寸丸  
長式尺 式本  
長四尺七寸  
通り櫛 上沓寸三分  
下沓寸六分  
料三分四厘  
シキ一分七厘  
ハミ三分四厘  
長料□□四寸  
外タ、リ 面沓寸七  
一寸六分

10紙裏



縁之割  
一エン階段  
長三尺四寸三分六厘  
一簾板  
ア沓寸四分  
中五寸  
一エン板  
木口沓寸四分  
尻九分  
水タレ三分  
長沓尺三寸  
一後通りエン板  
ア沓寸三分五厘  
長六尺  
一エンかつら  
せい式寸四分  
下八沓寸式分  
長四尺三寸 式本  
長六尺 沓本  
長沓尺 式本

